



教育委員会だより

「多久から発信！SDGs」

「西溪会会長としての1年」

東原岸舎西溪校 9年1組 稲毛 琉聖

私は西溪会会長として1年務めました。私が掲げた公約は「児童生徒全員が通って楽しい学校」でした。このような学校にするために、他学年との交流に力を入れ、学期に1度、異学年交流を行いました。その他にも、ここ2年間使用不可となっていた体育館の開放を行いました。使用禁止になった原因を踏まえ、自分たちでルールを考えて、昼休みに体育館を使うことができるようになりました。友達や他の学年の人たちが体育館で楽しそうに遊ぶ姿は、とても懐かしかったです。

他にも、文化発表会で販売するためのさつま芋を西溪会役員全員で育てました。初めに植えた芋の苗が枯れてしまい、とても残念でしたが、2回目に植えた芋の苗は元気に育ってくれました。夏休み、暑い中で行った草むしりは、とてもきつかったですが、頑張ったよかったです。収穫した芋を販売したところ、2万2千円の売り上げでした。このお金は社会福祉協議会に寄付しました。このような寄付が、貧困で苦しむ人の助けになればいいな、と思います。また、1回の活動でたくさんのお金を寄付することはできませんが、私たちの活動に共感して、行動してくれる人が増えます。



連載

野の仏ギャラリー ⑤8

最終回 「生き仏」

佐賀市慶閨寺

左の写真は芳岩妙春の逆修塔です。芳岩は多久領の祖となる龍造寺長信の妻です。石塔の下部に、「奉漸讀大乗妙典一千部以伸供養…逆修 芳岩妙春大姉 壽位 千時慶長十乙巳歳八月彼岸吉日」と刻まれています。また「水江事略」によれば、慶長十(1605)年「芳岩夫人岩松軒(長信法名)一託シテ妙典一千部ヲ修繕セラレ石塔ヲ建ラル且夫婦ノ御位牌ヲ當院ニ安置セラル」とあります。この記述にある石塔が、慶閨寺に所在する逆修塔と考えられます。



右の写真の上に、筆者が線で敷き写しています。↑



※逆修は、生前に自分の死後の冥福を祈る、あるいは年少者の冥福を年長者が祈るなどの仏事を指し、今回の資料は前者です

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

◆ ありがたい言葉に出来る愛してる
文字には出来る言葉に出来ない
野崎 隆幸

◆ 「感謝状をあげる」と夫のひとことに
重い介護も少しやわらぐ
梶原恵美子

◆ 「水が出る」涙に咽ぶ老夫婦
能登の被害者 精神壊れん
浦野 嘉恵

◆ うすうすと冬陽をあびて咲き初めし
小庭の隅のろう梅開く
川浪 信子

◆ 松尾さんが逝ってしまったわれ一人
ぼつねんと居る地球の広さ
尾形 節子

◆ 百歳の歯のなき笑顔 雑煮餅
中嶋 清子

◆ 花衣そと茶会の客迎ふ
おわやはな
本村 則子

◆ 初時雨人の急ぎし家路かな
生かされて齢いただく老の春
武富 律子

◆ 薄氷や斜暉に耀ふ向ふ岸
富樫 明美

◆ 春間近 緩んだネジを巻き直す
田中 正春

◆ 紙風船 風に誘われ街に出る
松下 修

◆ 文通のあの青春を忘れない
井上 東子

◆ しゃれた服を着て飼いだに吠えられる
西山 残月

◆ 吠えるヤツばかりで眠くない会議
田代まつこ

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

川柳 《多久川柳会 互選》